

■タイ：EGATは、中国国営広東核電集団他と原子力発電協力協定を締結

タイ発電公社（EGAT）は2009年11月16日、中国国営広東核電集団（CGNPC）、香港の電力最大手 CLP Holding の2社と原子力発電に関する協力協定を締結した。協定期間は向う3年間で、協力内容は、法整備関連、コスト試算、技術開発支援、原子力発電プラントでの実地研修などとなっている。ただし、EGATが中国の技術を採用するか否かは未定で、事業化調査の結果などを踏まえ決定される予定である。事業化調査については、2008年11月にEGATから委託を受けた米国系コンサルタント会社バーンズ&ロー・アジア社が現在実施中で、政府は2010年中に、原子力発電建設の最終決定を行うとともに、候補地点を3箇所に絞る予定である。なお、タイの原子力開発計画は、当初は2020年に2基200万kW、2021年に2基200万kWをそれぞれ運用開始するというものであったが、2009年3月に計画が修正され、現在は、2020年に1基100万kW、2021年に1基100万kWを運用開始する計画となっている。EGATが今年7月に行った調査では住民の約6割が原子力発電の近隣への立地に反対しており、地元紙は、今後住民の理解を得るには難航が予想されると報じている。